

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 …………… 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 …………… 500番
- *交読文 …………… 45番
- *使徒信条 …………… 会衆一同
- *頌栄 …………… 107番
- 礼拝のための祈り ……… 川合ゆきえ姉妹
- 賛美 …………… 496番
- メッセージ …………… 有用な社会人クリスチャン夫婦(1コリント2:1-5)
- 御言葉を適用する祈り … 会衆一同
- 賛美 …………… 365番
- 献金感謝の祈り ……… パスター
- 報告と歓迎 ……………
- *主の祈り …………… 会衆一同
- *祝祷 …………… パスター

祈祷課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- ・終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

起きよ、光を放て。_____の光が臨み、主の栄光が_____の上ののぼったから。
 見よ、暗きは地をおおい、闇は諸々の民を覆う。しかし、_____の上には主が朝
 日のごとくのぼられ、主の栄光が_____の上にあられる。
 諸々の国は、_____の光に来、もろもろの王は、のぼる_____の輝きに来る。目
 をあげて見ませ、彼らはみな集まって来る。
 _____の子らは遠くから来、_____の娘らは、かいなにいだかれて来る。その時
 _____は見て、喜びに輝き、_____の心はどよめき、かつ喜ぶ。
 海の富が移って_____に来、もろもろの国の宝が、_____に来るからである。多
 くのらくだ、ミデアンおよびエパの若きらくだは_____を覆い、シバの人々はみな
 黄金、乳香を携えてきて、主の誉を宣べ伝える。(イザヤ 60:1-6)

パウロは、コリントに来る前の伝道地・アテネでは、当時最高の文化人達を相手に、由緒ある評議所アレオパゴスで、すぐれた言葉や知恵を用いて、雄弁に福音を説明しようとしたのに、死者の復活の話になった途端、あざ笑われ、宣教は不毛な結果に終わってしまった。(使徒 17:22-34)
 これに懲りたパウロは、それ以降、単純に主イエスの十字架と復活の福音を語るようになった。
「兄弟たちよ。わたしもまた、あなたがたの所に行ったとき、神のあかしを宣べ伝えるのに、すぐれた言葉や知恵を用いなかった。なぜなら、わたしはイエス・キリスト、しかも十字架につけられたキリスト以外のことは、あなたがたの間では何も知るまいと、決心したからである。」(1コリント 2:1-2)

アテネを去ったパウロは、コリントへ来た時、イタリアから来た天幕造りの夫婦・アクラとプリスキラに出会い、パウロも同業者だったため、彼らの家に住み込みで働きつつ、安息日には会堂で福音を伝える働きをした。コリントは当時のギリシア文化の中心地で、哲学や弁論が盛んで、色々な娯楽もあり、また、退廃的な生活を「コリント風」と呼ぶ程、道徳的に退廃しており、彼らの目と耳は、現代日本のように、非常に肥えていた。そんな中でなぜ、すぐれた言葉や知恵を用いず、大勢の人達がイエスを信じ、救いへ導かれたのだろうか。それは、イエスの十字架の言葉こそ、神の御霊と神の御力の現われだからである。(1コリント 2:4-5)

アクラとプリスキラは、天幕造りの仕事をしながら、十字架の福音のみで次々と人々を救いへと導いて行くパウロを間近で見、交わり、一緒に働く事によって、有用な社会人クリスチャン夫婦へと成長して行った。この夫婦は一年半コリントでパウロと寝食を共にし、パウロがシリアへ出帆した時も、エベソまで同行した。彼らはこのエベソに留まって生活したが、そこでも彼らは有用な働きをする。(使徒 18:24-28)
 ある時、アポロという雄弁で聖書に通じた伝道者がエベソに来た。彼は会堂でイエスのことを正確に語り、教えたのだが、彼はヨハネのバプテスマしか知らなかった。
「それをプリスキラとアクラとが聞いて、彼を招きいれ、さらに詳しく神の道を詳しく聞きかさせた。」(使徒 18:26)
 一介の社会人夫婦が、雄弁で聖書に詳しいフルタイム献身者に、神の道を詳しく解き明かしたのである。しかも、この聖徒達は、アポロが行きたがっていたアカヤの聖徒達に手紙を書く事で彼を手助けし、彼をアカヤへと送り出し、それによって、かの地で信者になっていた人達の、大いなる励ましとなったのだ。

アクラプリスキラ夫婦は、天幕造りという仕事を持っていたため、アポロほど、主のミニストリーに時間を捧げられなかったし、また、アポロほど雄弁でもなく、聖書に通じていた訳でもなかったかもしれない。それでも、この夫婦が神の道について正しく説き聞かせられ、また、躊躇事無くそれが出来る勇気があったのは、パウロと一緒にコリントにいた一年半の間、すぐれた言葉や知恵、雄弁さなどに依らない、単純な「十字架につけられたキリスト」の福音に、どれほど力があつたかを、十分体験していたからである。
「わたしの言葉もわたしの宣教も、巧みな知恵の言葉によらないで、霊と力との証明によつたのである。それは、あなたがたの信仰が人の知恵によらないで、神の力によるものとなるためであった。」(1コリ 2:4-5)

神の働きは、何も、パウロやアポロといったフルタイム伝道者だけのものではない。彼らのようなフルタイム献身者が活動出来るのは、背後に多くの「アクラとプリスキラ」がいるからである。この夫婦のようになるには、十字架の福音が欠かせない。これを抜きにして、雄弁さや知恵深さだけ追求しても、アテネでのように、笑われて終わりである。しかし、十字架につけられたキリストの福音に、ひたされ続けるなら、いかに一社会人夫婦であっても、下手なフルタイム献身者よりも有用な働きをするのである。現代日本は、色々な意味で当時のコリントに負けず劣らぬが、それだからこそ必要なのは、純粋な福音、すなわち十字架につけられたキリスト、この御方であって、すぐれた言葉や知恵でも、雄弁さでもない。
「私たちは、多くの人のように、神のことばに混ぜ物をして売るようなことはせず、真心から、また神によって、神の御前でキリストにあって語るのです。」(2コリント 2:17)

コリントのようなこの国においても、アクラとプリスキラ夫婦のように純粋なキリストの十字架の福音に養われ、神の働きを大いに為す皆さんでありますように！イエス様の名前によって祝福します！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

日曜礼拝	
1部礼拝(韓国語通訳あり)	10:30
食事/フェローシップ	12:00～
2部礼拝	14:00
聖書の学び会(箴言)	15:00

日々の集会		
月～金	早天祈祷会	5:00～
火・木	夜の祈祷会	21:00～
水曜集会		
1部		13:00～
2部		19:30～
金曜徹夜祈祷会		21:00～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で

聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I -201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト